



# 森のなかま

2021年10月号

NO. 160 (継続305号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 佐藤 恭平  
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

『NPO法人かながわ森林インストラクターの会』はこんな事をやっています!

We are doing something like this!

## 森林(づくり)



例:下草刈りでの指導

植樹や下草刈り、枝打ち、間伐などの作業指導を行うとともに、森の手入れの意義や森林の機能についての解説を行います。また、豊かな森林づくりのための整備活動を行います。

## 自然観察



例:森林探訪での説明

森を探訪しながら、森林の機能やそこに生息する生き物の生態および人との関わりについて解説し、森の楽しみ方を案内します。県内各地で自然観察会や「森林探訪」を開催しています。

## 森林文化



例:小田原提灯作り

森からのめぐみを使った木工・クラフト・紙すきなどの制作指導や中山間地域に培われてきた伝承文化、民俗、自然との共生の知恵を学ぶお手伝いをします。

## 普及啓発



例:街頭キャンペーン

森林の大切さを県民に伝えるとともに、市町村、学校、企業、団体等の森林・林業に関する各種イベントや学習講習などの開催についての企画や推進の支援をします。

## 森林癒やし



例:森林の香り(フイトンチッド)浴

森の中で五感を使った散策などを通し、森林が人の心や身体に及ぼす働きを体験できます。心身の疲れを癒やし、健康で心豊かな生活ができるようお手伝いします。

## やどりき事業

### 森の案内人



水源林の集い(通常8月開催)



散策コース案内

成長の森案内



水生生物観察



やどりきで見られる動物たち(一部)

サワガニ  
カジカ

キビタキ



モモンガ

ムササビ



カモンカ



**会の活動拠点**。529ヘクタールのやどりき水源林をベースに森林整備、自然観察(植物、動物、水生生物)、森林癒やし、森林文化などの活動を行っています。水源林を巡る「森の案内人」や「成長の森の案内人」を行っています。

他にも・学校や企業等からの派遣要請等に対応アサイメント等を行うネットワーク事業活動。

・湯河原日本触媒万葉の森・伊勢原ひじりの森  
・南足柄 SMAS の森・三浦蟹田沢等の事業活動をおこなっています。

出前授業『森はみどりのダム』 林業体験(間伐)  
になる実験(水源涵養)



編集:広報部 松本 保①

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

夏の強い日差しも和らぎ、そよ吹く風に秋の気配を感じる頃、木々の緑は次第に色とりどりに秋の装いを始めます。紅葉の季節です。抜けんばかりに澄み切った青空に赤や黄の色が映えます。

深山溪谷が多く四季の区別のはっきりしたわが国の紅葉の美しさは世界にも誇れるものでしょう。万葉の昔から紅葉は詩歌の題材になり、もみじ狩りとしても親しまれてきました。

「もみじ」は紅葉と書きますが、紅色に限らず黄色や褐色もあります。万葉集に「我が衣 色取り染めむ 味酒 三室の山は 黄葉(もみち)しにけり」とあるように万葉時代には「黄葉」と書いて「もみち」、「もみちば」と詠んでいました。おそらくコナラやクヌギの黄や褐色への色変わりを詠んだのではないかとされています。

古今和歌集の「奥山に紅葉(もみち)ふみわけ鳴く 鹿の声聞く時ぞ秋は悲しき」のように紅葉という字がもみじと読まれて紅色の葉を指すようになったのは平安時代以降のようです。この歌に詠まれているように木々の緑が秋の訪れとともに、色変わりして行く様はどこか静寂の中にうら寂しさを感じますが、それと同時に精力的に成長を支えてきた緑の葉が最後の力を絞り華やかに輝きながら散りゆくひと時の喜びにも思えるのです。

紅い色に紅葉する木の代表はやはりカエデ科の樹種でイロハモミジ、ヤマモミジ、トウカエデ、イロハカエデ、ウリハダカエデなどがあります。北米に多く、カナダの国旗の図案にもなっているサトウカエデが一枚の葉の中でオレンジ色と紅色を配色し、徐々に紅色に変化していく様は紅葉の芸術とも言えるでしょう。



モミジ

ほかにはウルシ科のヌルデ、ブドウ科のツタ、ヤマブドウ、庭木にされるツツジ科のドウダンツツジなどが深まりゆく秋の静けさの中で目を楽しませてくれます。

第41回 紅葉 秋の野山を色美しく

東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏

黄色に色づくものには街路を鮮やかに彩るイチヨウや、カンバ類、ニレ、カツラなどがあります。

褐色になるものではブナ科の木が多く、クリ、コナラ、クヌギ、ケヤキ、トチノキなどがあります。ブナのように紅葉の始めには黄色に色づくしだいに褐色に変色していくものもあります。ブナの林の後ろから陽の光を浴び



イチヨウ

た黄色のブナの紅葉は明るく軽やかな気分させてくれますが、その紅葉も数日後には褐色に色づき、そして散っていくのです。

桜前線が暖かな南から北へと向かうのに対して北海道から始まりだいに南下していく紅葉ですが、紅葉を愛でる習慣は平安時代ごろから始まったと言われています。今では奥入瀬、日光などの紅葉がよく知られています。草や低木の紅葉を草紅葉(くさもみじ)と言いますが、尾瀬や秋吉台が名所として知られています。

秋が深まりゆく頃に色づき、物静かにはらはらと散っていく紅葉ですが、実は葉を落とさない常緑樹にも紅葉するものはあるのです。わが国の代表的な針葉樹であるスギは多くの品種がありますが、その中には冬になると褐色になるものがあります。枯れてしまったのではなく、次の年には緑になるのです。ほかにも緑の葉の中に紅葉した葉があつたりするので紅葉が目立たないものもあります。

紅葉の種類

色の種類	樹種
紅色	ヤマモミジ、ウリハダカエデ、イロハカエデ、サトウカエデ、ヌルデ、ハゼノキ、ウルシ、ツタ、ヤマブドウ、ヤマボウシ、ナナカマド、ドウダンツツジ、マユミ など
黄色	イチヨウ、イタヤカエデ、ヤナギ、ブナ、ニレ、カツラ、マンサク、ハナズオウ など
褐色	クリ、コナラ、クヌギ、ケヤキ、ミズナラ など

(イラスト 広報部 加藤 優美 ⑮)

## 活動短信

今回の掲載はR3年7月24日から8月21日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

## 10月(神無月)(旧暦9月長月)の

## 二十四節気と七十二候

## 寒露 10/8 頃

収穫の秋、雁が渡ってきて、菊の咲くころ秋の虫もなまきます。

## 霜降 10/23 頃

霜が降り始める。一雨ごとに寒くなり。紅葉狩りの季節です。

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明  
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。  
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ避けてください。改行等の処理に手間を要しますので写真もあれば添付ください。)

## ◆ 活動団体・活動名 等

日付(できれば時間と天気も)

場所(例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参加者 人数

例 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラスティみどり財団、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター① (○数字:期) 研:研修枠

以下、本文を概ね400字前後を目安として執筆ください

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者名もお忘れなく!!)

\*\*活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。\*\*

## ◆ 第6回 県民参加の森林づくり(下刈)

日 令和3年7月24日(土)8:40~14:10 晴れ

場 箱根町仙石原(イタリ水源林)

参 61名

財 古舘様、大木様、横山様、寺本様、

五百蔵様(緑の大使)

看 佃看護師

共催 箱根水道パートナーズ(株) 根岸様、前山様、安藤様

スタッフ 小田原市森林組合 高橋様 城所様

イ L 滝澤⑤、柏倉④、稲辺⑤、大道⑥、真貝⑪、東⑫、

鈴木⑭、西村⑮、竹内⑮、小林⑯、久次米⑯

安パト 岩田⑭、斎藤⑮

イタリ水源林の植栽は、初年度苗のほとんどが鹿に喰われたため、鹿柵設置後、植栽を再開しました。その後は順調に育ち、現在は身長を超える程になっています。樹種はヒメシャラ、イロハモミジ、ヤマザクラ、ヤマボウシ等です。今回の下刈りは平成26年~平成29年度植栽地です。植栽木の成長を阻害するような大きくなるものを中心に刈りました。平坦なところで作業がしやすい場所でした。初めて参加した方は

柄の長い鎌と格闘しつつも、後半は「簡単です。」と作業を進めていました。

時々吹く涼やかな風や草花(チダケサシの花やバライチゴの真っ赤な実など)に元気をもらい、予定の作業を終えることができました。熱中症予防のため多目の水分補給、適宜休憩を取り、体調をくずす方もなく安堵いたしました。

昼食後希望者を募り、箱根水道パートナーズの前山様の説明を受け水道施設見学も行われました。その後箱根高原ホテルへ移動。参加者の皆様、いい汗をかき(作業)いい汗(温泉)を流しご満悦の様子でした。箱根高原ホテルのご厚意に感謝致します。

緑の大使五百蔵さん(高校生)、一緒に作業をし、箱根高原ホテル前で募金活動を担当してくださいました。進学準備のため今回は最後の活動となりました。希望の道が開けますように!!ありがとうございました。(記 久次米 久美子 ⑯)

## ◆ 日揮グループ 水源林保全活動

日 令和3年8月21日(土)8:30~12:00 曇り

場 塚原水源林 日揮グループ活動地

参 大人9人

県 神奈川県水源環境保全課 武田様

イ L 佐藤⑤、北村⑮

日揮殿が4月に植林した場所の最初の下草刈り作業、7月3日予定が雨天で延期された活動でした。駐車場に集合し、現地倉庫から大鎌・中鎌・剪定鋏、手入れ道具等を搬出しました。駐車場にてミーティングと準備運動を行った後、佐藤Lから熱中症、怪我、苗木を伐らないこと、本日の安全目標「周囲の確認」等の注意がありました。作業現地は駐車場から道路を少し下った左手の斜面、金網フェンスに入口扉が付いています。金網越しに中を覗くと、急な斜面に加えて苗木はカヤ等の雑草に埋もれ、支柱の竹棒も見当たりません。

道路の片側に荷物を纏め、佐藤Lが大鎌の取り扱いと下草刈りの手順を説明し、初めて大鎌を使う5名の方には現場で更に丁寧に指導しました。かなり難易度の高い作業で、日揮さんの声かけ「時間が来たら終了」もあり、何処まで進むか不安でしたが、初めての方の奮闘や県職員さん自ら大鎌を持ってのご協力で完了出来ました。日揮さんの植栽調査班が最後に苗木と支柱を結ぶ位置を上げて支えを補強しました。鎌の手入れをして倉庫へ返却し、終了。

事故・怪等もなく全員作業で時間内に終了出来ました。心地よい汗をかいたと互いに称えていました。道具の運搬を含めて日揮さんの積極的な行動が気持ち良い一日でした。(記 北村 貢⑮)

### やどりき水源林ミニガイド

#### 「森の案内人」

森の案内人がお待ちしています。  
水源林にお出かけください。

#### 「やどりき水源林ニュース」



<http://www.forest-kanagawa.jp/4field/news/news189.pdf>  
9月号が発行されました。  
「やどりき水源林は秋の入口」です。

#### ●問合せ:

(公財)かながわトラストみどり財団  
TEL: 045-412-2255  
FAX: 045-412-2300  
●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>  
E-mail: [midori@ktm.or.jp](mailto:midori@ktm.or.jp)

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>  
(HP担当: 井出恒夫)

#### ◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。  
＜広報全般についてのお問い合わせ＞

黒川 敏史  
kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp  
Tel: 080-5477-2206  
＜電子配信会員向け担当＞ 笠原  
Mail: [happy\\_kumakuma711@icloud.com](mailto:happy_kumakuma711@icloud.com)  
＜電子配信企業等パートナー向け担当＞  
柳澤 Mail: [kshinrin\\_pr@icloud.com](mailto:kshinrin_pr@icloud.com)  
＜メール・手書き原稿送り先＞  
【本誌】黒川 敏史  
Fax: 0467-46-8650  
電話連絡先: 080-5477-2206  
[kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp](mailto:kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp)  
【別冊】阿藤 寿孝 (10月号まで)  
Tel: 045-433-4413  
Mail: [hisa-ato2@22.netyou.jp](mailto:hisa-ato2@22.netyou.jp)  
【別冊】小林 照夫 (11月号から)  
Mail: [kobayashi@ts-pocket.jp](mailto:kobayashi@ts-pocket.jp)

原稿は随時受け付けています。

#### 年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。  
郵便振替口座 00230-0-2454  
かながわ森林インストラクターの会  
宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

#### 編集後記

10月号から、本欄記載担当者を増やし、持ち回りとなりました。

★9月21日は中秋の名月、十五夜でしたが、満月は2013年以来だそうですね。2022.23もみられるそうですね。その後は2030年。

家内はススキが見当たらないので、それらしきものを摘んできました。調べたらセイバンモロコシでした。なるほどトウモロコシの小型版の穂ですね。その後、ススキを捜しにいきましたが、少なくても多くあるのはセイバンモロコシでした。ヨーロッパ原産で毒を生成するので家畜の餌にもならない厄介な帰化植物だそうです。

(記と左下写真 松本)

★秋晴れのお彼岸、曼珠沙華の群生で人気になっている府中市郷土の森博物館に行ってきました。広い敷地ですが、かなりの人出です。若い頃は「どうも年寄臭くってね」と、関心が湧かなかったのに、近頃は妙に惹かれます。どうやら、一步彼岸が近づいた所為なのかな、フフフ。(竹内)

★新型コロナ感染対応で森林インストラクターの活動も中止や延期など様々な対応をしてきました。ようやく第5波も落ち着きそうですが、この先の感染対応をどうしていくか、まだまだ悩ましいですね。(阿藤)

★ コロナ禍で16期生として活動の少ない年でした。広報の仕事は家から近い藤沢なので お手伝いに参加させて頂きました。

11月号から編集担当としての役割を果してまいりたいと思います。今後とも宜しくお願い板組みます。(小林)

★植物図鑑アプリをインストールしました。樹木をスマホで写真を撮るだけで、瞬時に識別され教えられます。丁寧にも生育条件お世話ガイドまで示されます。このアプリには、昆虫と鳥の識別アプリのサービスが添えられてもいます。その高い精度と便利さに、AIの凄さを実感しています。(中澤)



セイバンモロコシとススキ

編集人: 黒川 敏史  
広報部: 吉田郁夫 松本保 笠原かずみ 加藤優美 阿藤壽孝 竹内明彦  
柳澤千恵美 小林照夫 武田昭典 中澤良夫  
支援: 大原正志 江頭淑子

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。



<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。  
全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

#### 人も自然もいきいき 丹沢

丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>